

2008年度投資研究会黒門祭参加報告

1、はじめに

2008年8月28日に、専修大学投資研究会(以下、当サークル)が黒門祭に参加した。本年度は当サークルが初めて黒門祭に参加した年である。今回の参加目的は、当サークルメンバー(以下、メンバー)個々が研究したことの発表を行い、加えてその研究書の作り方への提案、研究内容の質問といったメンバー同士の成長促進も兼ねている。

2、メンバーの発表テーマ

- ・ポートフォリオ理論によるモデル分析(横山 祐介)
- ・ ハニーズの急成長(上仲 孝明)
- ・ 日本経済におけるバブルの影響とバブルにおける銀行の失敗について(須田 徹也)
- ・ 鉄鋼業界(鳥居 昭秀)
- ・ エコロジー企業(名倉 雄平)
- ・ 大日本印刷㈱について(伊藤 弘人)
- ・ 任天堂(橋本 昌之)
- ・ 日本の人口とGDP(大熊 賢人)

順不順、敬称略

3、感想

研究発表に参加したメンバー10人のうち、発表したのは8人である。どの研究も非常に独創性が出ており、期待以上の出来栄で素晴らしいものであった。学年の壁もまったくなく、メンバー同士、研究書の作り方への提案や内容の質問を行っている姿がみられ積極性がある素晴らしいサークルであるとあらためて実感させられた。外部見学者の方も現れるなどのサプライズもあり、非常に楽しい時間であった。